

活動名	団体名称	特定非営利活動法人 日本子ども支援協会	
	活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動	
	活動の目的	②児童虐待や性暴力などの被害児童・社会的養護を必要とする子どもの支援	
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>目にする機会が増え、頭の片隅に残る事で、妊娠に悩む親、子どもができない親、どちら側の親からも「里親」という選択肢が出てくることを願っている。</p> <p>その知るきっかけとなるには、全国一斉の啓発を継続して実施していかなければならない。</p> <p>10月4日里親の日に合わせ、全国47自治体113ヵ所でハート型のリーフレット配布を行った。</p>		<p>2017.9-【随時】</p> <p>2017.9-【随時】</p> <p>2017.9-【随時】</p> <p>2017.9-【随時】</p> <p>2017.9-【随時】</p> <p>2017.10.4</p> <p>2017.11-【随時】</p> <p>2017.11</p>	<p>【事務局会議】</p> <p>【リーフレット作成、啓発グッズの確定、発注、発送】</p> <p>【各地域へ呼びかけ】</p> <p>【参加団体締め切り】</p> <p>【最終案内の実施】</p> <p>【キャンペーン実施】</p> <p>【集計】</p> <p>【反省会】</p>
■活動目標	目にする機会が増え「里親」という選択肢が出てくるという状況。		
■長期成果	今回、里親の認知度の向上を目指しており、不特定多数に配布予定です。ターゲット層等はなく、一般人に周知したいと考えております。		
活動風景			
 <p>&lt;上毛新聞&gt;</p>		 <p>&lt;ほうふ日報&gt;</p>	
		 <p>&lt;NHK奈良放送&gt;</p>	
■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信	
<p><b>【得られた成果】</b></p> <p>全国47自治体113ヵ所で配布</p> <p>市長参加：枚方・奈良</p> <p>テレビ放送：山梨・奈良</p> <p>インターネットテレビ：FC大阪</p> <p>新聞：福井、佐賀、上毛、毎日新聞本社、紀伊民報、熊野新聞、ほうふ日報、ならしの朝日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年参加されていない団体が増えた。</li> <li>・ハートのリーフレット＝里親リーフレットといった位置づけがすこしづつ出てきていた。</li> <li>・市長を呼んだり、他団体と協力したり、関係機関と連携し、昨年参加されていた団体はさらに実施のレベルが上がっていた。</li> <li>・来年はもう少しリーフレットの枚数を多くしたい等既に来年の実施について述べられている所が多かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県では、他団体と連携して48名での配布を行ったところ、後日、7組から里親をしたいとの申し出があった。</li> <li>・各地で使用しているリーフレットとは違い、今後、里親になり得る若い女性の受け取りも多く、啓発には最適な形であった。</li> <li>・昨年より各地での新聞社の取材が増え、2次的な啓発に繋がっていた。</li> <li>・各地で連絡先を入れられるようにした為、問い合わせが集中せず、地域でそのまま里親登録に繋がっている。</li> <li>・里親の古いイメージが払拭されていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数が多い所程リーフレットの受け取り率が高く、思った以上にすぐに配布が終了している。</li> <li>・枚方駅では700枚を30分で配布し終えた。</li> <li>・各地域の人が地域で参加する事により、どこで実施を行えば効果的なのか、誰と一緒に実施を行えば効果的なのか等、地域目線で考えられた。</li> <li>・表面に何のリーフレットなのか記載しない事により、その場でリーフレットを開ける方が多くいた。</li> </ul>	
〒 630-8241 (住所) 奈良市高天町30-1-201 (団体名) 特定非営利活動法人 日本子ども支援協会 (ホームページ) : <a href="http://npojcsa.com">http://npojcsa.com</a>		助成金額 500,000円	助成期間 H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。